



## 四半世紀の努力と研鑽で作上げたチタン箸

(有)カツキ眼鏡

代表取締役 **勝木 信弘さん(左)**  
**勝木 真理恵さん(右)**

住所：鯖江市長泉寺町1丁目11-19



チタン箸オンラインショップはこちらから

チタン素材とすることで箸の塗料が剥がれることが無い、安心安全な箸を目指したいとの思いで作上げ、持ちやすいように形状にもこだわった。「チタン橋ならカツキ」と呼ばれるように、更なる磨き上げにも余念はない。

「眼鏡の街」鯖江市の(有)カツキ眼鏡は、眼鏡製造を手掛ける一方で、そのチタン技術を活かしたチタン箸の製造を行っている。同社が手掛けた「純チタン製箸かつき吉祥」がこのほど、日本商工会議所等が主催する全国推奨観光土産品審査会において経済産業大臣賞を受賞した。

チタン箸を作り始めたのは平成11年頃。代表の勝木信弘氏と妻の真理恵氏は「認知度や販路の不足もあり、最初に作った100膳を売するのに2年かかった」と当時を振り返る。そこから、軽量化や、取引先・同業者間の連携等を経て、商品を磨き上げ続けてきた。そして、ネット販売の好調ぶりやインバウンド増加を好機と捉え、今回の審査会への出品、受賞に至った。

信弘氏は、「賞をいただいたことは、自信に繋がるとともに、商品への信頼度が高まり、顧客やバイヤーからの注目も集まる」と期待を寄せる。加えて、「このような出品会等を活用することは、中小企業が持つ商品や技術を広く知ってもらうのに大いに役立つ」と語った。